

1 基本情報

事業名称	西区民の健康づくり ～子育てと健康づくりのスキルアップ事業～				
事業目的	・父親の育児参加が多いほど、乳幼児期の発達が促されるため、父親になる方に育児に関する知識や技術の取得を促す。 ・西区の男性は市内で最も高血圧症が多いため、特に青壮年期の健康意識の向上及び高血圧予防を行い、将来的な高血圧の予防をめざす。				
事業概要	父親へ育児に関する技術の取得を促すとともに、保健センターに来所する機会が少ない20～39歳男性を対象に、地域イベント等でアウトリーチを実施し、健康への関心が低い層も含めた幅広い世代へのアプローチを行う。また、家庭の汁物の塩分濃度測定や血圧測定後に保健指導を行うことで、健康意識の向上や行動変容を促進し、医療機関の受診につながるなど、高血圧病予防に寄与する。				
実施主体	西保健センター	実施場所	西保健センター・地域・商業施設	実施時期	通年

2 設定指標

活動指標	来所男性の血圧測定数（所内事業）		R4	R5	R6	R7
		目標			400	450
		実績			430	509
成果指標	20～39歳の男性で自分の血圧を知っている人の割合		R4	R5	R6	R7
		目標			30.0	46.0
		実績			44.5	49.2

3 事業評価

決算額 421,000 円

①妥当性	○	②費用対効果	○	⑤総合評価	○	評価基準
男性が育児に参加することは、産後うつや虐待などのリスクを軽減し乳幼児期の発達を促す効果がある。また、青壮年期における生活習慣の乱れは、将来的な健康課題につながりやすい。そのため、今後子育て世代となる青壮年期の男性を対象に啓発を行うことは、西区の課題である高血圧症の男性の減少に寄与するものである。		妊婦教室など、対象者が集まる機会を活用し、育児指導と同時に高血圧予防の啓発を実施している。既存事業に厚みを持たせる形で取り組んでいるため、限られた予算と人員で効果的に実施できている。		男性の育児参加が求められる中、妊婦面接や妊婦教室を通じて知識やスキルを指導することで、育児の担い手としての成長に寄与できた。また、親になるというライフイベントは自身の健康を見直す絶好の機会となるため、効果的な保健活動を実施することができた。さらに血圧測定者の中には、高血圧を自覚しているにも関わらず未治療者の方やはじめて自身の血圧を知った方もおり、地域イベントや商業施設での実施は好評であり、より多くの区民へのアプローチができた。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③区内・公民等連携	○	④区の計画への寄与度	○			
商業施設（イトーヨーカドー）において「健康夏まつり」を実施した。各種地域団体と連携・協働し、地域イベントに参加することで、これまでアプローチが困難であった青壮年期の男性にも保健活動を展開できている。		家庭の塩分濃度や自身の血圧を知るきっかけを提供することで、自分自身の健康状態をチェックするという健康習慣の定着を促進している。この取組は、「西区みらい指針」の取組の方向性の一つ「安全・安心のまちをみんなで創る」に寄与している。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	青壮年期の男性を中心に実施することで、家庭やこども世代への波及効果が期待できる一方で、対象者が教室参加者やイベント来所者などに限られてしまう。	今後の方向性	継続
対応方針	本事業のターゲットは引き続き青壮年期とする。しかし、効果をさらに高めるため、学童期などのより若い世代にも健康に関する知識を普及していく。区内の大学や小中学校等と連携し、健康情報の発信や取組に向けた調整を進める。		